

休みの日に読みたい長編小説

新学期が始まって約一か月が経過しました。ようやく委員会も決まり、新しいクラスにも慣れてきたころだと思います。そこで、休みの日の前に図書室を利用し、長編の小説を読んでみませんか？いままでに長編にチャレンジしたことのない人でも読みやすいシリーズものからゆっくり読みたい作品まで、おすすめの本を紹介します！

三毛猫ホームズシリーズ 赤川次郎 著



事件を華麗に解決するのはなんと猫…！？

警視庁捜査一課の刑事で女性・高所・血液恐怖症の片山がある事件現場で出会った猫のホームズは、難事件のヒントを教えてくれる名探偵だった！

シリーズは合計38作品あるものの、赤川次郎らしく一作は読みやすいものになっています。小説のほかに、ドラマ、漫画、ゲームにもなった名作です。

少年H

妹尾河童 著



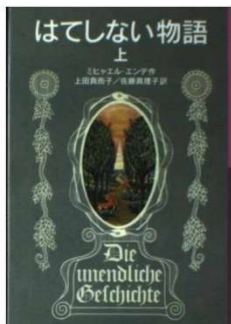
舞台は昭和14年。周りから「H」と呼ばれている小学3年生の妹尾肇（せのおはじめ）は、元気にのびのびと日々を過ごしていた。一戦争が始まるまでは…。

舞台芸術家、エッセイストの妹尾河童自身が体験した「戦争」が、少年らしい感性で描かれています。

小説のほかにもアニメ、テレビドラマ、映画化された作品です。

はてしない物語

ミヒヤエル・エンデ 著 上田真而子/佐藤真理子 翻訳



映画「ネバーエンディングストーリー」の原作です。

さえない少年バスチアンが盗んでしまった本は、読むとその世界に入ることができる魔法の本だった！

バスチアンが本の中の世界で繰り広げる大冒険を見届けてくださいね。

ファンタジー色が強いので、映画から見てみるのもおすすめです！